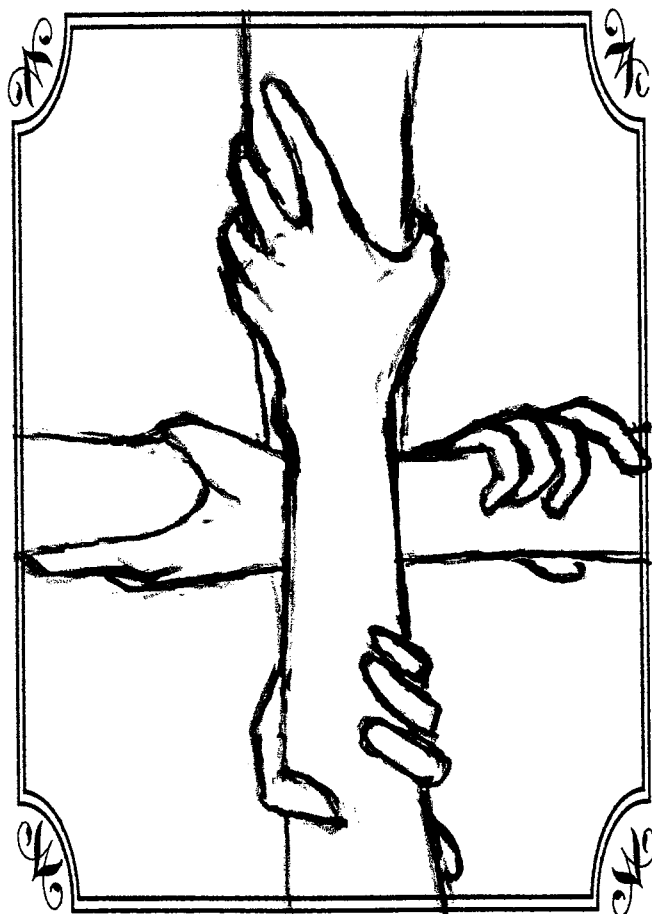


シャロンの花だより

主題 「虹の架け橋」

～祈り・仕え合うことで 繋がりを～

「わたしは雲の中にわたしの虹を置く。これはわたしと大地の間に立てた契約のしるしとなる。」創世記9章13節



「あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。」ペトロの手紙一 4章 10節

巻頭言

「虹のかけ橋」

小泉 嗣 (東教区社会部 千葉教会牧師)



「あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているの
ですから、神のさまざまな恵みの善い管理者とし
て、その賜物を生かして互いに仕えなさい。」

ペトロの手紙一 4章10節

「虹」のおもしろさはその色にある。「赤、橙、
黄、緑、青、藍、紫」の7色が一般的な色使いとされ
ているが、虹の色を何色とするかは地域や民族、時
代によって大きく異なるそうだ。確かに虹をよーく
見ると、色と色の間にはもっとたくさんの中間色が
あるように見える。信号の色を「あお」と言うこと
からも想像できるが、日本でも昔は5色だと言われて

いた。沖縄地方では赤と青の二色だと言われていたこともあったそうだ。さらに虹の色で
円を描いて、その紙を回すと白色に見える。

交じり合いそうではっきりと分かれ、それでいて隣同士の色は実際に交じり合っ様々
な色を作り、くるくるまわすと一つの色、しかも白色になる。

女性会に限らず、教会も含めてそうだと思う。実に色々な「色」がある。見る人によっ
ては1色にも100色にも見える。相互作用で様々な中間色を作り出す。もちろん決して交じ
り合わない色もある。混ざること良しとしない、交わることに喜びを持つ十人十色、い
や何人虹色の群れ、それが女性会であり、教会である。

しかし、そんな女性会も円を描いてくるくる回せば一つの色になる。何色にも染まらな
い、何色にも変わる可能性を持つ白い色になる。そこに動きが生じるとき、皆で一步を踏
み出すとき、それぞれの思いは違っても、一人飛びぬけようとがんばっても、主イエス・
キリストを証しする一つの色とされる。

私たちキリスト者は神さまから賜物を与えられている。きっと人の数だけ賜物があるの
だろう。実にさまざまな恵みだろう。そんなたくさんの色の賜物が生かされて、互いに仕
えあうときに、そこには実にカラフルな色の虹が、しかし一つの色とされた虹がかけられ
て、神と人を、世と教会を、世界と日本を、人と人をつなぐのだろう。

第1回会長会報告

東教区女性会会長 浅野聖子

三年に一度の連盟総・大会を経て、新期も本格的スタートとなり思いも新たにしております。すでに、東教区女性会は22期開始から半年が経ちますが、その間様々な活動に皆様の参加・ご協力をいただき役員一同、励まされ心から感謝しております。

さて、皆様が初めて虹をご覧になったのはいつ頃でしょうか？私は、二十歳近くになってから旅先で見たのが最初です。やがて、勤め先の子ども達と一緒に再び目にした時、歓声を聞きながら、

「この子達は、こんなに早く虹を見ることができるとは、何という恵みでしょう」と、その美しさと重ねて感動しました。

22期主題も継続して、『虹の架け橋』とし、副題は“祈り、仕え合うことで 繋がりを”といたしました。祈りに覚えることは、喜びも悲しみも共に分かち合う事と思えます。神様がくださる希望の約束のしるしである虹を仰ぎつつ、祈り合い、仕え合い、繋がりを広げ、深めていきたいと考えております。

また、第1回会長会では、グループごとに話し合われた内容 (p.4に記載) や、各教会女性会の様子などの発表を通して、祈りの課題を分かち合うことができ、しばし静寂の中で祈りの時間を持つことができました。

皆様のお声を三年間の活動に生かしていきたいと思えます。役員一同、どうぞよろしく願いいたします。



東教区女性会 役員紹介

【会長】
浅野聖子
(市ヶ谷)

新しい経験の連続で、目下何もかもが勉強中。女性は7の倍数年齢に体調を崩しやすいとか…ちょうど該当年齢の私ですが、皆様から「行ってよかった！」と言っただけの会長会、集いを目指して元気に頑張りたいたいと思います。

長い教会生活を過ごしてきて、今回初めて東教区の役員に就きました。稔台教会で洗礼をうけ、他の教会を知らずにきましたので、まったく五里霧中でまだ光が見えません。でも副会長の役目をお受けしたからには、会長さんはじめ他の役員さんを裏からサポートできたらと思っています。どうぞよろしくお願いします。

内山美佐子
(稔台)

【副会長】

長野教会で洗礼を受け10年になります。自称「O型人間」でそそっかしく少し人見知り。好きな聖句は第1コリント10章13節。この御言葉により、まあ、いいか、やってみよう！何事もこれで乗り切っています。

清水敦代
(長野)

【書記】 大牧正子 (雪ヶ谷)

いろいろな仕事をしてきた後に、女性会の働きに加えられたのは神様のご計画の内にあっただけでしょうか。信頼しあい、協力し合って3年間を楽しくお役に立ちたいと考えています。

【会計】 立石節子 (八王子)

中央線沿線地区の当番教会・八王子教会から選出された前任者のご都合により辞任され、この6月に半年遅れで同教会の私が祈りの中で再スタートを切りました。会計には疎い者ですが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【連盟担当】 石田せつ子 (千葉)

あっさり、さっぱりしてるとよくいわれますがこの度役員に選出され、皆様とお会いしてから思慮深くありたいと願う私です。3年前から始めたマラソンで得た持久力がこの場に少しでも活かせたらと思っています。

受洗以来 数十年を都南教会の会員として過ごしています。まさか(!)女性会の働きに加えて頂く日が来ようとは...これも主の導き...にしては...何もできないのが現実。とにかく助けられての歩みです。どうぞよろしくお願いします。

【文書】 安田やまと (都南)

第22期 東教区女性会 第1回会長会 (4/28) 話し合い報告

東教区女性会・提案/期待

奉仕	震災支援	ほしくずの会支援	東京老人ホーム
イベント	コンサート・音楽伝道	講演会	芝居 (塩狩峠)
神学校	神学校支援	女性牧師養成	
その他	他教会の活動を知る	会長会を楽しく	

<震災支援>
 祈りのはがき
 被災地のものを買う
 東北で作った手芸品などを各教会のバザーで販売
 車椅子ダンスのボランティアを募集中
 ルーテルとなりびととの協力
 1泊2日震災ツアー
 雑巾を縫って送る

<イベント>
 講演会
 音楽伝道
 教会内外でのコンサート
 塩狩峠の芝居 etc
 ↓
 イベントで活性化を狙う
 ※女性会というより教区に望むこと?

<ほしくずの会>
 ・需要 (米、みそ等) を把握し
 → 提供できるものを提供
 ・山谷の炊き出しメンバーの高齢化
 → 取り組みの見直し
 ・参加方法が分からない

<東京老人ホーム>
 できる範囲でのボランティアを
 ↓
 賛美歌、話し相手
 爪切り

<神学校>
 神学校の支援
 とりわけ女性牧師の養成、支援
 →女性牧師が育ちにくい現状
 →女性会が支えに

<その他>
 ・他教会の行事、活動などを知らせてほしい
 ・会長会を楽しいものに、恵みを持ち帰りたい

女性会の現状
 ・教会内の活動で手一杯!
 ・教区の活動などは参加が困難!
 ・とにかく今ある活動を継続
 ! もっと活動アピールを!
 ・高齢化、メンバーの減少
 ! 若い人の参加を!



甲信地区女性会報告

東教区女性会副会長 清水敦代

今年度より3年間、甲信地区は長野教会が当番になり、甲信地区女性会拡大役員会を、5月12日(土)松本教会の甲信地区センターで開きました。東教区より浅野会長、内山副会長、安田文書担当が出席してくださいました。開会礼拝で佐藤和宏牧師は、ヨハネによる福音書15章4節の「つながる」ということについて、先生がアメリカで購入したみんなで体験できる道具を使い説かれました。相手が誰であれキリストによってつながる。そこには、好き嫌いなどの条件は関係ない。ただ私とキリストのつながりがそこにあるだけ、というお話でした。

続いて、議事の部に移り、主に3年間の活動計画、代々受け継がれている申し送り事項と「甲信地区女性会だより」について話し合いました。

後半はお茶を飲みながら、お客様の浅野会長のお話と各女性会活動の情報交換の場になりました。最後は市原悠史牧師のお祈りで終了しました。

当日は季節が逆戻りしたような天候でしたが20名の出席者がありました。

来年は6,7月ごろ地区の女性の集いをもつ予定です。



第22回連盟総・大会に出席して

稔台ルーテル教会女性会会長 辻純子



仕事を持ちながら2日の休暇をとることは少々きついと思いましたが、3年に一度の総・大会ですので貴重な体験なのだと思います、出席することにしました。

会場の舞子ビラ神戸は有栖川宮の別荘であったという由緒あるホテルで、管理の行き届いた庭園は参加者の気持ちを心和ませてくれました。

開会礼拝では、全国から駆けつけた200名近い参加者が教会賛美歌190番を賛美しましたが、普段は全国に散らばっているキリストを信じる仲間が、今ここに集められたことの喜びを力強く感じる事ができました。

礼拝に引き続き総会では、事前に出された1から13号議案までを2日間で協議しましたが、一つ一つの議案に参加者から多くの意見が出され、1日目の協議が終了したのは夜の10時でした。議長が一人でも多くの方の意見が反映されるように丁寧な議事進行をされたことに敬意を表したいと思いました。今年は総会の開催年や開催地の見直しが検討されましたが、改めて全国から集まる総・大会の意味をみんなで考えさせられました。

参加者の中には私よりも年配の方が多くおられました。自分の意見をはっきりと話される様子にびっくりしました。1つの議事に多くの意見が出され、時間オーバーになるのではと心配しましたが、時間通りに派遣礼拝、聖餐式を終えることができました。大会の後の愛餐会では東日本大震災のルーテル教会の取り組みを紹介するスライドが上映されましたが、一人の小さな力では何もできないことでも、大きなキリストの群れにつながることでできることがたくさんあるのだと改めて考えさせられました。2日間ありがとうございました。



＊今後の予定＊

2012年

- 9月 22日 (土) 一日神学校 ミニショップ出店
於：日本ルーテル学院大学・神学校
- 10月 6日 (土) 22期 第2回会長会
於：日本福音ルーテル藤が丘教会
- 11月 6日 (火) ほしくずの会 ボランティア参加
- 11月 9日 (金) ACWC 一日研修会
於：日本キリスト教団富士見町教会
10：30～15：00

2013年 2月 ほっとニュース発行

2013年3月1日 (金) 世界祈祷日



～ルーテルとなりびとからのお願い～

火・水・金と仮設住宅の集会室で行っている「お茶っこ会」用の差し入れをお願いします。各地のお菓子でも駄菓子でも何でも結構です。

日持ちのしないもの場合は、事前に連絡をして下さると助かります。

(連絡先：090-1116-0477)



＊編集後記＊

第22期第1回の『シャロンの花だより』を発行することができ感謝です。今年の一日神学校では『神学校を覚える女性会』ということで女性会のブースを設け手作りのクリスマスオーナメントを販売する予定です。

暑い中、方々の教会でオーナメントを和気あいあいと作成して下さいったお話が耳に入り感謝です。

一日神学校に大勢の女性の方が参加して下さいることを願っています。(Y.Y)